

「あせらず あわてず あきらめず 一步一步」(3学期始業式式辞要旨)

1月1日、私たちの誰も経験したことのない大きな地震が起きました。

輪島市や珠洲市を始め、石川県能登地方では202名の方がなくなり、今なお102名の方が行方不明という状況が続いています。

氷見市でも家屋がつぶれたり、道路が陥没したり、断水が長く続いたり大きな被害がありましたが、奇跡的に犠牲になった方は一人もいませんでした。

生徒の皆さん、生きていてくれてありがとう。

そして、今日、元気に学校に登校してくれてありがとう。

地震が起きた直後、私は家の近くの芸文館に避難しました。北中生の姿も何人かみましました。しばらくして、津波の心配がなくなってきた頃に、氷見高校に避難した友達家族が芸文館に歩いて移動してきました。その友達が氷見高校の様子を教えてくれたのですが、「氷見高校はもう人があふれていて、とにかく寒かった。ここで非難を続けるのは難しいと判断してこっちへ来た。氷見高校の避難場所である体育館にマットを敷く作業があったのだが、その作業を北中生が一生懸命にやっていた」という話を聞き、こういう状況の下でみんなのために働く北中生がいることを知り、とてもうれしく思いました。

氷見高校や避難場所で手伝っていた人、そして地震後に色々と家の片付けなどを手伝っていた人たちへ、ありがとう。

今日、こうして始業式が始まりましたが、避難先にいるために登校できない友達もいます。また、まだ断水が続いている地区もたくさんあります。

地震からの復旧は、まだまだこれからが本番です。

辛くなるときもあるかと思いますが、幸いにも私たちは生きています。

生きている私たちが、命を無駄に使っては、罰が当たるような気がします。

地震を乗り越えて生きているこの命、地震を乗り越えて生かされているこの命を大切に、一生懸命に生きていきましょう。

辛くなったら、弱音を吐いてもいいじゃないですか。愚痴を吐いてもいいじゃないですか。

元の生活を取り戻せるよう、あせらず、あわてず、あきらめず、一步一步、前を向いて頑張っていきましょう。

では、3学期が始まります。3学期は、往ぬる一月、逃げる二月、去る三月といわれ、あっという間に過ぎ去ります。時間を大切に1年間の締めをしっかりと行ってください。

特に3年生、みなさんは、卒業まで残り2ヶ月あまりです。時間を大切に、自分の進路決定に向けて、努力を重ねていきましょう。